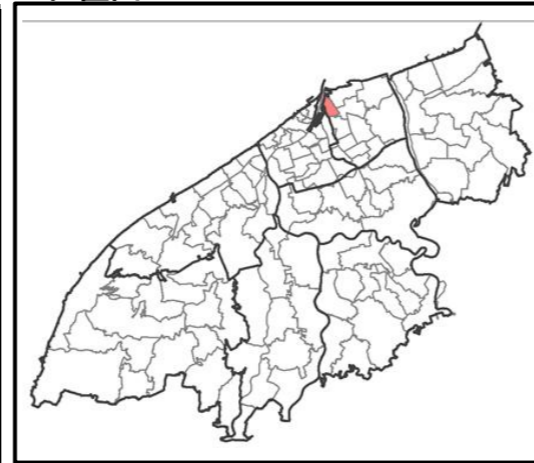


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 2 columns: Address, and empty cells for details. Includes entries like 大山1・2丁目, 北葉町, etc.

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations such as 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, etc.

●人口

Table showing population statistics including total population, age groups, and household data. Includes a pie chart for age distribution.

●建物関連指標

Table showing building-related indicators such as total number of buildings, construction year, and material type. Includes a pie chart for building material distribution.

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation shelters and tsunami evacuation buildings within the area, including facility name, height, and disaster resistance.

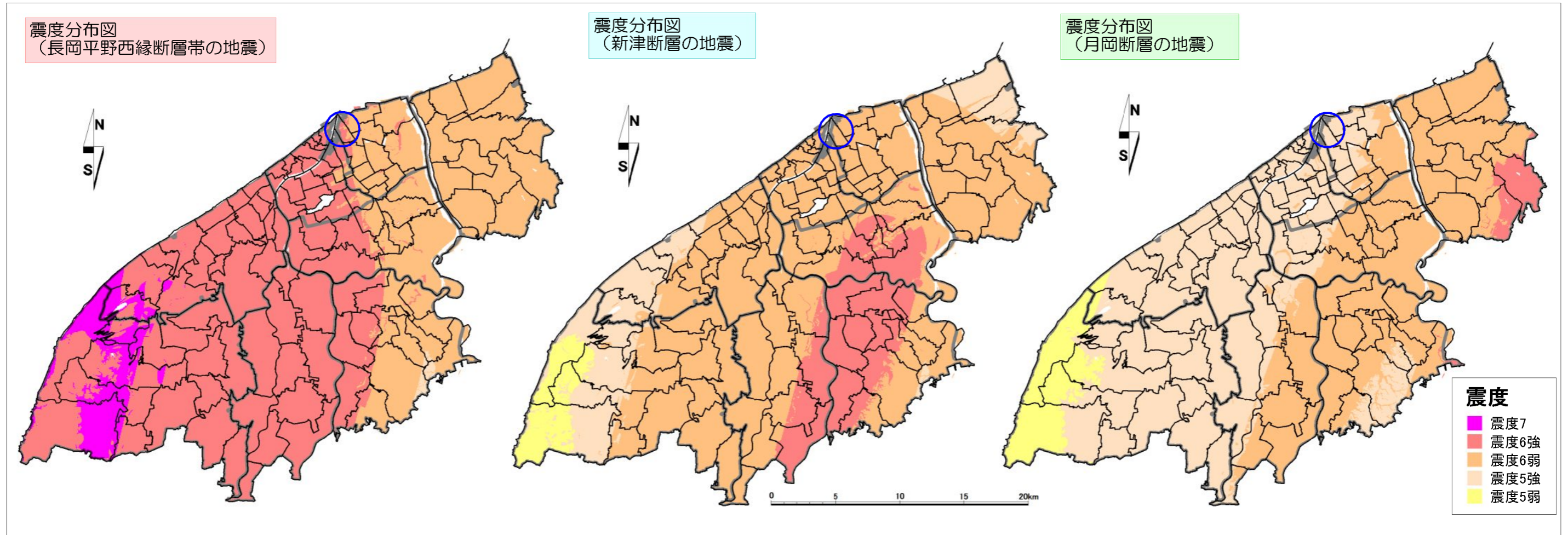
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation shelters and tsunami evacuation buildings outside the area, including facility name, height, and disaster resistance.

避難の可否(災害ごとに表記): 開設する施設を「○」、避難可能な階数を「○」、開設しない施設を「-」、避難に適さない施設を「×」

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks for Earthquake, Tsunami, and Landslide, with descriptive text for each.



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

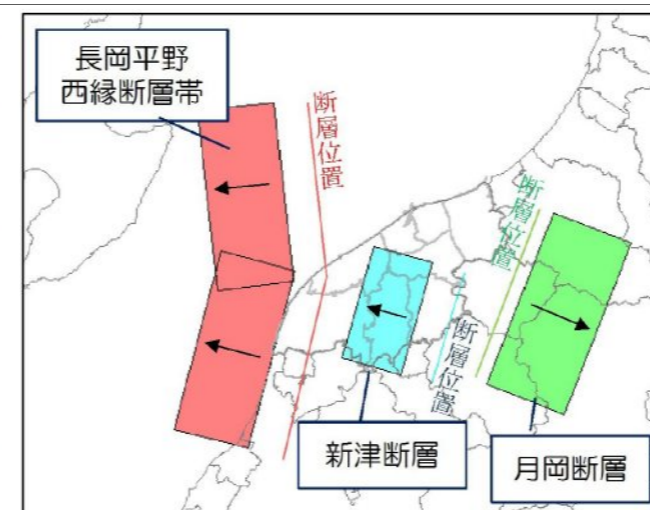
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

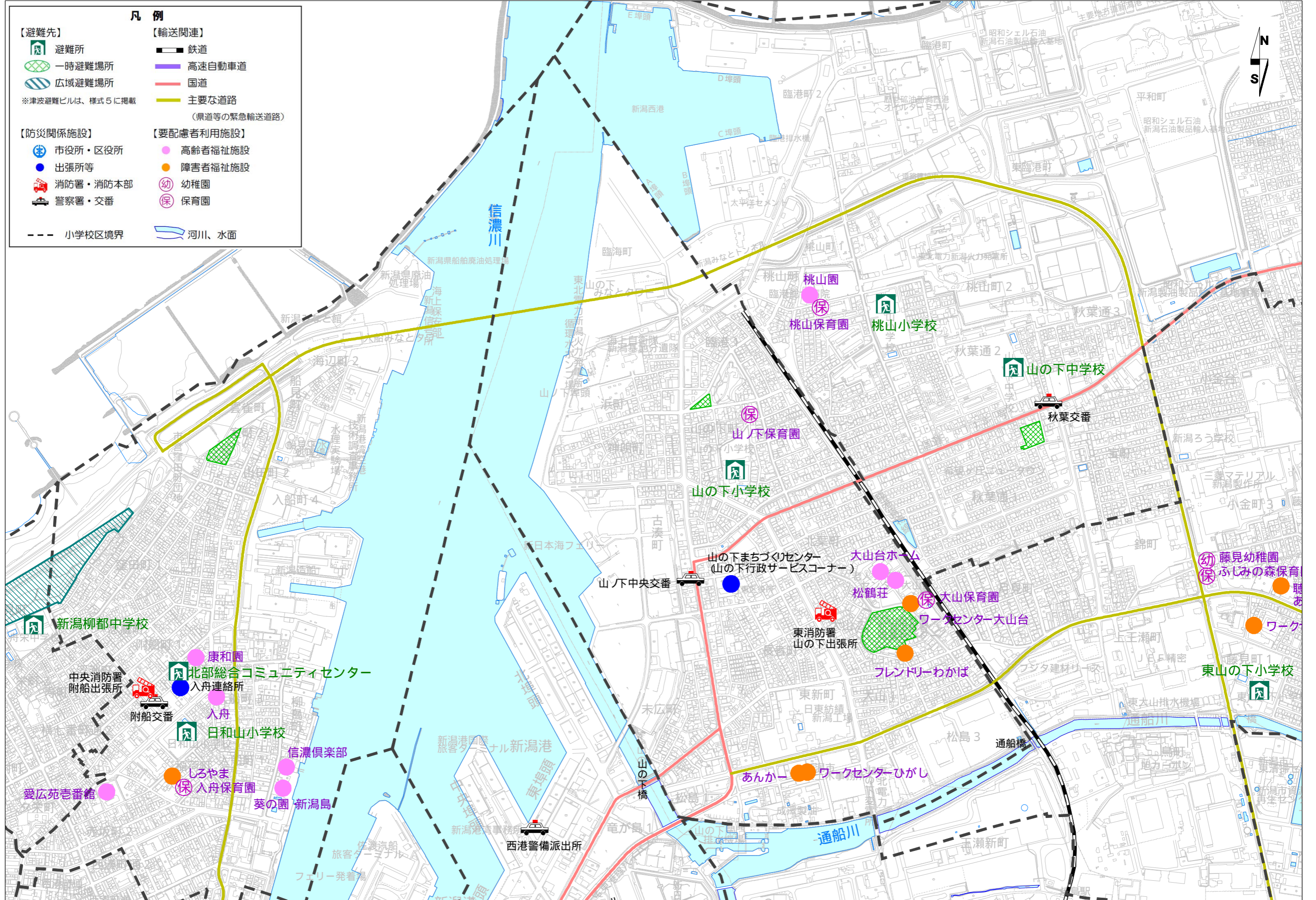
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。

様式3 防災地図

山の下小学校区



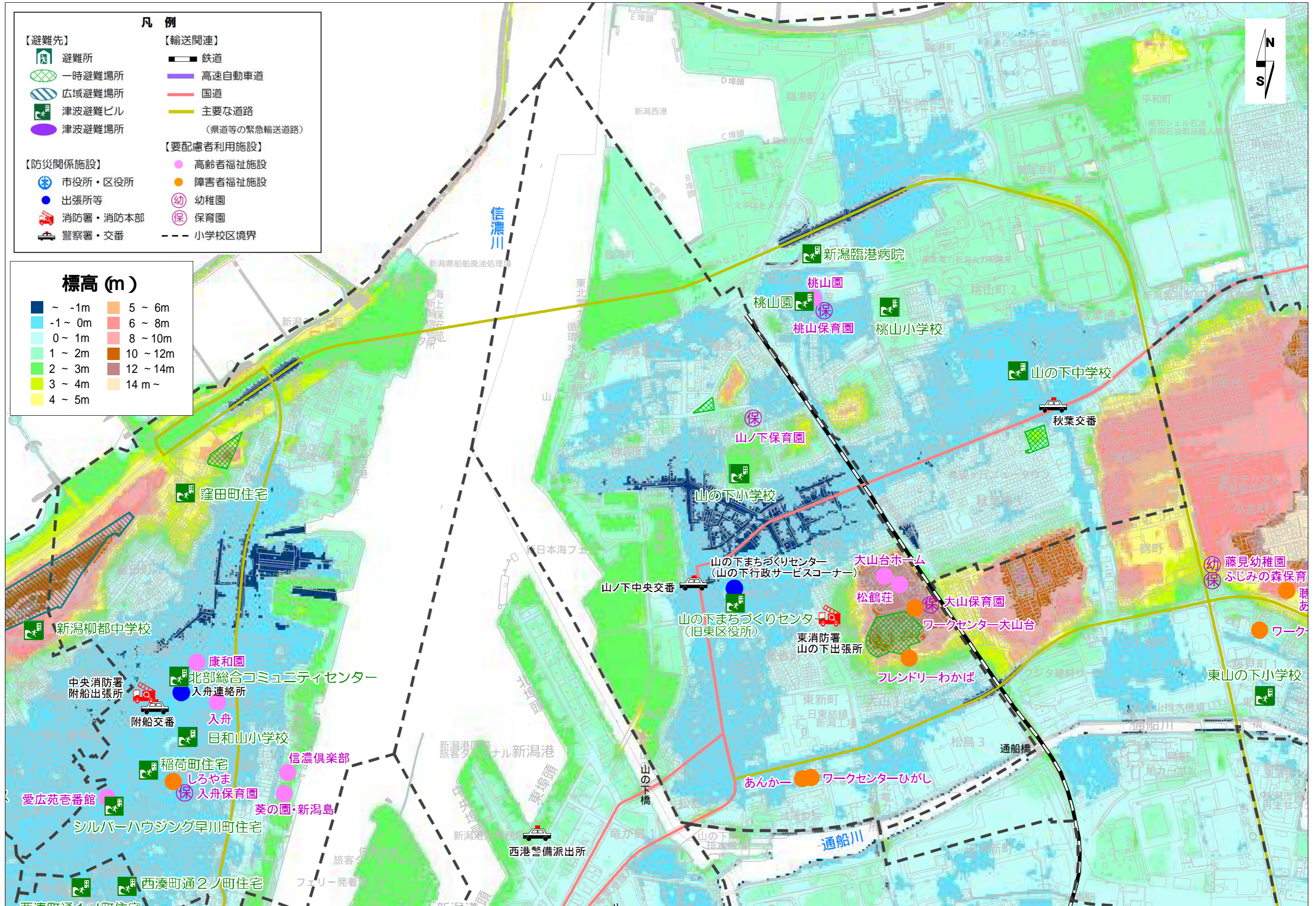
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)





様式5 標高分布図

山の下小学校区

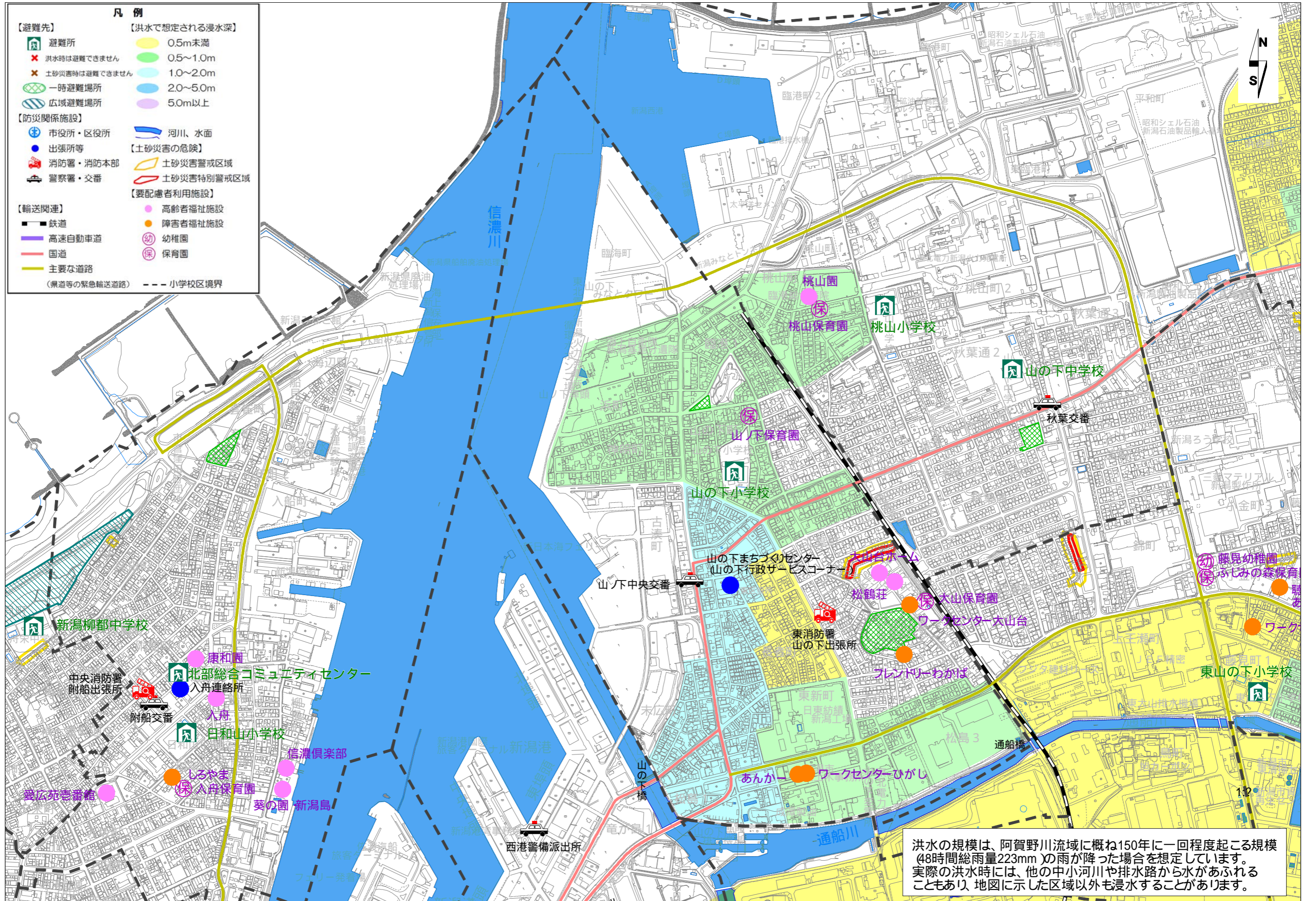


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

山の下小学校区



洪水の規模は、阿賀野川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量223mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年) 阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)

